

新時代に處する道(6)

教育 谷垣勝藏

△日本語教育問題

日本の教育では泣いても笑つて通り三通り、それから幾萬ある漢字で漢語を出来るだけ多く覚えさせなくてはならぬ。文章にして、口語體、文章體、古文體、候文體と誠に頗る多くのもので、一通りの文字が綴れるだけになると、中學校や高等女學校を終つても駄目だといわれゐる。

斯うした避け難い文字文章上の支障が存する爲に、日本では高等小學校まで、八年間の普通教育を卒へても、猶普通の文章も書き得ず、法令の解釋をもする

立派な知識をもつて、卒業後は自學自習で、知識を向上發展して行くことが出来ない。

然るに當國を初め、歐米諸國では文字が少くして簡単で、綴字法がやさしいから書物を読むのがやさしく、教へてゐる事は教へにくく、教へることも容易に習熟する。二三年もすれば最早此の方の教育は優に日本の十年の教育に匹敵するといはれてゐる。既に二三十年も四十五年もある。特殊の研究までもさせられる事が出来るのである。歐米の六年私共は、それが歯痒くちれつたくて堪まらなかつたものである。以前から、日本の識者が、歐米と文明の競争、生存の競争をしてゐるのである。そして其の精

神が採用せられて、第一の着手として漢字制限といふ事になり授け、故國の事物精神を紹介するといふのなら格別、日本の兒童と同様に、此等文字にまで踏み込み、日本の讀本其他の教科

文字を定限する様になつた。併書を以て、之を教育せんとする

程度が日本より以下である。

これは決して思はれない。確かに社会に立つての働きに不都合はない。

雑誌「現代」の新年附録に、面白

い統計が澤山載つてゐるが、其中に、

前略その上難かしい漢字を使つてゐる爲、國語の教授には非常の苦心がある。

日本(一週間) 十二時間二十分

六年間に於ける讀本の語數

日本 英國 三九〇〇〇語

英國 八千語

日本(一週間) 八時間

一年半 八九〇〇語

英國 八時間

六年内に於ける讀本の語數

日本 英國 一ヶ年半 八九〇〇語

日本(一週間) 八時間

六年間に於ける讀本の語數

日本 英國

英米の争覇
第二世界戦争 (下)

北米が歐洲に財政的援助を與へて戦後の疲弊から歐洲を救はんとした事も、言ひかへれば戦時中折角借した金が回収不能になる事を恐れた結果である、彼の理想的主義の主張も大向ふをうならず様な言語も、それは米國自身には空説文みたいなものであつた。國際聯盟に不戦條約による事は出来ないが、去りとて餘りあまりな現實ばかりに世界は驚いた。英米戦争はマクドナルド自身で是起り得ないと言ふ事になつてゐるが、相手の米國の外交の衝に當つてゐたボラ一氏は明白に若し二大兩國間(英米)をさしてゐるに理解した一致點が生じない場合には、海軍力を強大にして萬一に備へ必要がある、これは英國に對してと限つた事でない、彼の一九一四年の事件(世界大戦の事の様に聯合した敵が生じても、それに對抗する海軍が必要である、と言つてゐる)彼ボラ一氏は、決してこの言語を好戦的の意味に弄したのであるが、英國にどうしては無い事は明白だが、英國にどうして注意される事は、米國がつては過去の歴史が榮光を持つるだけそれだけ皮肉な聞き辛らい言語であるであらう。米國との戦争が起る又別の原因としてその仕拂ひの苦痛からのがんとして英國に加擔しないとは誰か断言出來やう、こうして不道徳な行為も戦争といふ名で許されるのが常であるから。その上、近頃緩和され出したと云はれてゐる日米關係、米墨關係、米カナダ關係、それらの動きも又みすごす事が出来ない。

貨物自動車
Stewart

スチアート型

一噸積より四噸積迄當會社は自動車製作に二十六年間の熟練せる他に優れる技工を有す

乗用自動車
Graham Paige
グラハマペイジ型

代理店 G. Corbisier Cia. Ltda.
Rua. Barão de Itapetininga, 67
S. Paulo
舟八式の型あり
13: 950g
48: 000g
まで



第三表
二百九十七キロ
聖市よりの距離

第二表
二百三十七キロ
聖市よりの距離

第一表
三百三十七キロ
聖市よりの距離

第五表
四百九キロ
聖市よりの距離

第六表
五百一キロ
聖市よりの距離

第四表
二三四キロ
聖市よりの距離

第七表
二三七キロ
聖市よりの距離

第八表
二三九キロ
聖市よりの距離

第九表
二四二キロ
聖市よりの距離

第十表
二四四キロ
聖市よりの距離

第十一表
二四五キロ
聖市よりの距離

第十二表
二四七キロ
聖市よりの距離

第十三表
二四九キロ
聖市よりの距離

第十四表
二五二キロ
聖市よりの距離

第十五表
二五五キロ
聖市よりの距離

第十六表
二五八キロ
聖市よりの距離

第十七表
二六二キロ
聖市よりの距離

第十八表
二六五キロ
聖市よりの距離

第十九表
二六八キロ
聖市よりの距離

第二十表
二七二キロ
聖市よりの距離

第二十一表
二七五キロ
聖市よりの距離

第二十二表
二七八キロ
聖市よりの距離

第二十三表
二八二キロ
聖市よりの距離

第二十四表
二八五キロ
聖市よりの距離

第二十五表
二八八キロ
聖市よりの距離

第二十六表
二九二キロ
聖市よりの距離

第二十七表
二九五キロ
聖市よりの距離

第二十八表
二九八キロ
聖市よりの距離

第二十九表
三〇一キロ
聖市よりの距離

第三十表
三〇五キロ
聖市よりの距離

第三十一表
三一〇キロ
聖市よりの距離

第三十二表
三一四キロ
聖市よりの距離

第三十三表
三一八キロ
聖市よりの距離

第三十四表
三二二キロ
聖市よりの距離

第三十五表
三二五キロ
聖市よりの距離

第三十六表
三二八キロ
聖市よりの距離

第三十七表
三三二キロ
聖市よりの距離

第三十八表
三三五キロ
聖市よりの距離

第三十九表
三三九キロ
聖市よりの距離

第四十表
三四二キロ
聖市よりの距離

第四十一表
三四五キロ
聖市よりの距離

第四十二表
三四八キロ
聖市よりの距離

第四十三表
三五〇キロ
聖市よりの距離

第四十四表
三五三キロ
聖市よりの距離

第四十五表
三五七キロ
聖市よりの距離

第四十六表
三六〇キロ
聖市よりの距離

第四十七表
三六三キロ
聖市よりの距離

第四十八表
三六六キロ
聖市よりの距離

第四十九表
三六九キロ
聖市よりの距離

第五十表
三七二キロ
聖市よりの距離

第五十一表
三七五キロ
聖市よりの距離

第五十二表
三七八キロ
聖市よりの距離

第五十三表
三八一キロ
聖市よりの距離

第五十四表
三八四キロ
聖市よりの距離

第五十五表
三八七キロ
聖市よりの距離

第五十六表
三九〇キロ
聖市よりの距離

第五十七表
三九三キロ
聖市よりの距離

第五十八表
三九七キロ
聖市よりの距離

第五十九表
三九九キロ
聖市よりの距離

第六十表
四一〇キロ
聖市よりの距離

第六十一表
四一三キロ
聖市よりの距離

第六十二表
四一五キロ
聖市よりの距離

第六十三表
四一六キロ
聖市よりの距離

第六十四表
四一七キロ
聖市よりの距離

第六十五表
四一八キロ
聖市よりの距離

第六十六表
四一九キロ
聖市よりの距離

第六十七表
四二〇キロ
聖市よりの距離

第六十八表
四二一キロ
聖市よりの距離

第六十九表
四二二キロ
聖市よりの距離

第七十表
四二三キロ
聖市よりの距離

第七十一表
四二四キロ
聖市よりの距離

第七十二表
四二五キロ
聖市よりの距離

第七十三表
四二六キロ
聖市よりの距離

第七十四表
四二七キロ
聖市よりの距離

第七十五表
四二八キロ
聖市よりの距離

第七十六表
四二九キロ
聖市よりの距離

第七十七表
四三〇キロ
聖市よりの距離

第七十八表
四三一キロ
聖市よりの距離

第七十九表
四三二キロ
聖市よりの距離

第八十表
四三三キロ
聖市よりの距離

第八十一表
四三四キロ
聖市よりの距離

第八十二表
四三五キロ
聖市よりの距離

第八十三表
四三六キロ
聖市よりの距離

第八十四表
四三七キロ
聖市よりの距離

第八十五表
四三八キロ
聖市よりの距離

第八十六表
四三九キロ
聖市よりの距離

第八十七表
四四〇キロ
聖市よりの距離

第八十八表
四四一キロ
聖市よりの距離

第八十九表
四四二キロ
聖市よりの距離

第九十表
四四三キロ
聖市よりの距離

第九十一表
四四四キロ
聖市よりの距離

第九十二表
四四五キロ
聖市よりの距離

第九十三表
四四六キロ
聖市よりの距離

第九十四表
四四七キロ
聖市よりの距離

第九十五表
四四八キロ
聖市よりの距離

第九十六表
四四九キロ
聖市よりの距離

第九十七表
四五〇キロ
聖市よりの距離

第九十八表
四五二キロ
聖市よりの距離

第九十九表
四五三キロ
聖市よりの距離

第一百表
四五四キロ
聖市よりの距離

第一百一表
四五五キロ
聖市よりの距離

第一百二表
四五六キロ
聖市よりの距離

第一百三表
四五七キロ
聖市よりの距離

第一百四表
四五八キロ
聖市よりの距離

第一百五表
四五九キロ
聖市よりの距離

第一百六表
四五〇キロ
聖市よりの距離

第一百七表
四五一キロ
聖市よりの距離

第一百八表
四五二キロ
聖市よりの距離

第一百九表
四五三キロ
聖市よりの距離

第一百十表
四五四キロ
聖市よりの距離

第一百十一表
四五五キロ
聖市よりの距離

第一百十二表
四五六キロ
聖市よりの距離

第一百十三表
四五七キロ
聖市よりの距離

第一百十四表
四五八キロ
聖市よりの距離

第一百十五表
四五九キロ
聖市よりの距離

第一百十六表
四五〇キロ
聖市よりの距離

第一百十七表
四五一キロ
聖市よりの距離

第一百十八表
四五二キロ
聖市よりの距離

第一百十九表
四五三キロ
聖市よりの距離

第一百二十表
四五四キロ
聖市よりの距離

第一百二十一表
四五五キロ
聖市よりの距離

第一百二十二表
四五六キロ
聖市よりの距離

第一百二十三表
四五七キロ
聖市よりの距離

第一百二十四表
四五八キロ
聖市よりの距離

第一百二十五表
四五九キロ
聖市よりの距離

第一百二十六表
四五〇キロ
聖市よりの距離

第一百二十七表
四五一キロ
聖市よりの距離

第一百二十八表
四五二キロ
聖市よりの距離

第一百二十九表
四五三キロ
聖市よりの距離

ノビレ少将と云へば、直ぐに吾人は北極の悲劇を想像する。そこで、その悲劇の原因は、何であるか、何が起つたのであるか、その原因を明確に説明する。それは、ノビレ少将の一行救助の記である。

The image shows a black and white photograph of a Japanese newspaper page. On the left side, there is a large advertisement for 'Casa F. I. Yashio' (F. I. Yashio Company), which includes a circular logo with the letters 'F. I. Yashio' inside. Below this, the company's name is written in a stylized, decorative font. To the right of this, another large advertisement is for 'FAZENDAS PERNAMBUCANAS' (Fazendas Pernambucanas), also featuring a circular logo with the same text inside. The text 'FILIAES EM TODO O BRASIL' (Branches throughout Brazil) is written below the main title. On the far left, there is a small circular emblem or stamp. The central part of the page contains several columns of Japanese text, likely news articles or advertisements. The overall layout is typical of early 20th-century Japanese print media.

放浪者半生

南樹

日本公使館の人々(二)

Rasputine e as Mulheres

を観て(上)

活狂

やな喧話が誰の口からとなしに洩れた、妙な暗いアトモスフェアが公使館内に醸されて居た。私へは、ホテル案内宿つて、無用の入費をかけるな云つて、公使は館の裏家の宿室に寝床を作らしてくれた。私は妙な構想で云つて、驯れない私は、仕事なしに事務室の掃除などを手伝つた。私の仕事は黙々として石像の如く見えた。三浦通譯官はさう様な口調で、時々伯國の事情など話してくれた。私は妙な氣になる口唇を見つめながら、如く見えた。

「メトロボリス」のあのすばらしい機械文明を諷した映画を見せて呉れた獨乙映画は又我々に立體的感じの強い時代映画を見せて呉れた。

この映画は單なる歴史上の一記述に過ぎないものであるからして勿論メトロボリスの様な構想には必要でなく好く時代思想を表現して行けば好いのであって、此の点では非常な成功であると

極度に信頼して行くあたりは見る者をして思はず映画の無我境に惹き入れて行く。

「君戀し」

涙はあふれて行く

「君戀し」

灯しひうされて

燕脂の紅帶

ゆるむも淋しや

「君戀し」

涙はあふれて

「君戀し」

まづかなまづかな

じゆく柿一つたべては又一つ

まづかなまづかな

まづかな

「何が卑怯だ、元來小人が汝を暗殺するには、卑怯な事をするに相違あるまい、その時に當つて、卑怯なことをされたから討されたと言つて宜いか、俺だから宜いやうなもの……」

「イエモー分解ました、恨みある者ならばと有仰るのでせう」

「何うもお前の劍術は初太刀が受けられるが二の太刀は受けられぬとは不自由だ」

斯く曰はれて又十郎の殘念一通氣の安む時とてない、夜はその勞れでグツスリ寝込む、幡藏先生が晝間は少しの隙もないから夜木劍を携へてボカリと打つ。

「酔うござります、寝て居る處をば」

「イヤ昔から寝首を搔き、ふこの心眼を開いた内服だけ睡つて居る者、賢者は寒夜は霜降の音を知り、勇士は轡の音で目を覺え、ハット云つたら太刀風三寸で身を翻へすといふ呼吸を學べ、宜いやうなもの」

「また初まつた、先生モー分りました、承知いたしました」

「これがら目を開けて寝て居ろ」

「それはチト御無理で」

「心眼を開いた内服だけ睡つて居たが、これも發覚されて殿が出来ない、山中へ出て午睡を取られたが、これも發覚されて此後どいふものは夜も寝ることはないか」

「以後どいふものには夜も寝ることがないから、其辛苦は一通りでない、かゝる事を行つて居るうちに、習ふより馴れる譽へにもある通り、遂に又十郎は如何程熟睡して居ても、ヤ

カユミあるデキモノには
ビシノール軟膏!!

「俺には分らぬ……オイとは失散千萬な奴」

「拙者は柳生の三男又十郎であるこれを聞いて二度吃驚。



NIPPO-BRASILEIRA CLINICA DENTISTA

醫科齒

市建コンデ・ズ・ナ
(中央商店の前)

村上眞市郎

Laboratorio Chemic Phar Japoneza
Rua Assembléa No. 31
SÃO PAULO病氣になつたら早くその初めに充分に手當をなさい
手後れになるござんな名醫も治療が難かしくなりますタ力點眼藥
タ力胃散藥
タ力膏藥
ビシノール軟膏
ボリヂアスタゼ
ボリビタミーナ
衛生ハミガキ粉

特製調剤

ナントニン錠
甘汞錠
次硝酸銅錠
芳香ヒマシ油
芳香アンモニア水虫下し藥
毒消し、腸殺菌劑
下痢止め
下し藥
氣付け藥

△販賣所 有名な日本人商店及フルマシア△

通信病院——病氣にてオコマリの方は病氣の様子をこまかく書いて御通知下さればそれぞれ専門の醫師に問い合わせ御返事致します

大河内薬化學研究所
電話 — 2-4818Dr. S. TAKAOKA
MEDICO OPERADOR
Rua Fagundes, 8 S. Paulo

診察 午後三時より

高岡専太郎

居る所は駿河臺は大久保左衛門

向つた

トーラームには
タカ 點眼藥

合氣速當の秘術

保彦左衛門に従つて、父但馬守

へ勘當の詫を入れんとその邸へ

玄番か

イエ柳生の御三男又十郎様で

ござりまする

何、又十郎が來た、何うも珍

らしい、ドンナ姿で参つた

イエモーはろくした姿で、

私は乞食を見違いまして大に失

禮をいたしました

左様か、それも親の罰でさう

なるのも當然だ、庭へ廻せ

喜内は又十郎を庭の方へ案内し

た。

イヤ又十郎かよく參つたな

御叔父上様には毎も御變りな

ござりまする

アツ、成程これは、柳生の若

仕りました、少々お待り下され

と喜内は飛ぶが如く奥に來つて

申上げます

アツ、成程これは、柳生の若

仕りました、少々お待り下され

と喜内は飛ぶが如く奥に來つ